

## 謝罪文

被害者様

この度は、私が犯した盗撮の件で、被害者様に多大なご心配、ご迷惑をおかけしたこと、誠に申し訳ございません。また、お辛い気持ちが癒えぬ中、謝罪をお引き受けいただいたことに深く御礼申し上げます。

私が、このような卑劣な犯行をしてしまったのは、一言でいうと自分に対する弱さだと思います。仕事や家族との関係が上手くいかずストレスが溜まる中、本来であれば仕事は仕事、家族は家族で解決すべきところ、その外部にストレスのはけ口を求めてしまったのです。しかしながら、いかなる理由があろうとも、盗撮を行うことは決して許されるものではなく、弁明の余地がないことは重々承知しております。

今後は、二度と盗撮を繰り返さないためにも、次の三つのことを実践していきます。

まず、今回盗撮で使ったスマートフォンを処分し、今後はカメラ機能がついていないスマートフォンに切り替えます。また、ネット等で小型のカメラを購入しないよう、私名義のクレジットカードはすべて解約します。

次に、今後一切●●駅を使いません。これまで通勤手段として●●駅を使っていましたが、今後は自転車か車で通勤します。

次に、これまで疎かにしていた家族とのコミュニケーションを大切にしていきます。私の更生のためには家族の協力が不可欠であることを、今回の事件を通じて痛感しました。

この度の件で、被害者様が負った心の傷は、私がどんなに謝罪しても癒えぬものだと思いますが、せめてもの償いとして被害弁償をさせていただきたいと考えています。詳細は弁護士から連絡があると思いますが、こちらもご対応いただければ幸甚でございます。

略儀ではございますが、取り急ぎ書面にてお詫び申し上げます。改めまして、この度は誠に申し訳ございませんでした。

令和●年●月●日

山田太郎 ㊞